



ポラン通信



vol.2

年始のごあいさつ

2022年1月

新年明けましておめでとうございます！去年12月に創刊したポラン通信。早速ですが新号です！今回は去年の活動を振り返らせていただき、どんな活動をしているのか、ポランの特徴などをお伝えしたいと思います。これらを活かし、今年もどうぶつのために邁進してまいります。よろしくお願いいたしまーす！！

突然の病院あるある4コマ



息をつけます!!!

ポランの保護猫の過去・現在

当院では外で生まれた子猫、引取希望の一般の方などから動物を引き取り、里親を探す活動をしています。

2021年保護頭数：23頭

譲渡頭数：18頭

2019年開業より

保護頭数：63頭

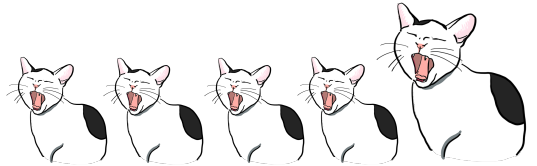
譲渡頭数：53頭

今年は新生児の保護が多く、残念ながら保護してすぐに亡くなる子もおりました。昼夜問わず哺乳し、成長し譲渡するまでは2ヶ月はかかります。それが複数同時期なのです。今年はその分、全体の引き取り数は少なくなりました。



地域猫活動へのご理解ご協力を！

「地域猫活動」とは、飼い主のいない猫の問題を、「猫を愛護するか否か」ではなく、「地域の環境問題」として捉え直し、地域住民・問題解決に取り組むボランティア・行政の三者が協力しあって、飼い主のいない猫を適正管理しつつ徐々に数を減らしていき、暮らしやすいまちづくりを目指していくという活動です。(以上、練馬区HPより抜粋) 具体的には・・・



- ①生まれさせない(避妊去勢をする)
- ②集めない(餌は出しっぱなしにせず決まった時間に決まった猫に)
- ③糞尿対策(猫トイレを設置してトラブル対策)

がありますが、動物病院では①の、生まれさせない、避妊去勢手術を協力することができます。そしてこれがなにより大切なことです！！

練馬区では「地域猫推進ボランティア」を募集、認定、支援しており、捕獲ケージの貸し出しや不妊手術料金の助成をガイドラインに基づいて行っています。ポラン動物病院ではこの助成金を用いた不妊手術に積極的に協力しています。(オス5000円、メス10000円)

2021年では オス137頭、メス125頭 合計262頭 を手術いたしました！
手術済みの猫ちゃんには、耳の先にV字でカットを入れ、手術済みの印としています。ちなみに、この外猫を捕獲(Trap)して手術して(Neuter)元の場所に戻す(Return)活動は、頭文字をとって TNR(ティーエヌアール)と呼ばれています！



当院には、これまで猫に関心がなかったけれど、ある日突然「庭で猫が子猫を産んでいる！！」とパニックになり、慌ててご相談される方が多いです。外で頭数が増える前に、まずはご相談ください！！まるなげはNGですが、ご協力はいたします！練馬区の方はまずは練馬区保健所のHPなどをご参考になさってくださいね。